

2026年度 実務経験のある教員による授業科目 建築・環境デザイン学科

学科共通科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
デジタルプレゼンテーション論	2	1	疋田 訓之	前期 月曜日 4時限	建築実務設計25年実務で必要なコンピューターリテラシーについて、経験に照らし合わせてより実践的な指導をします。	
建築環境工学	2	2	藤長 愛一郎	後期 月曜日 4時限	建設業技術者（環境技術開発）12年：環境技術に関する建設技術者の実務経験で得た、建設工事の環境への配慮し、建築環境工学の基礎であるこの科目が、実務にも役立つことを学生に認識できるようにする。	
建築設備工学	2	2	山崎 政人	後期 火曜日 3時限	建築設備・エネルギー分野のコンサルタントとしての実務経験（31年間）を生かし、建築デザイナーに必要な建築環境、建築設備、エネルギーシステムの知識を修得してもらいます。	
入門ゼミナール	1	1	濱崎 竜英 谷口 省吾 花嶋 温子 吉川 耕司 玉井 昌宏 藤長 愛一郎	前期 水曜日 1時限	濱崎竜英実務経験：公的機関・ジュニア専門員（環境）1.5年、公的機関・専門家（水質）2.0年、民間コンサルタント・技術者（環境）1.5年公的機関および民間企業での経験を社会人教育に活かす。	
廃棄物論	2	2	花嶋 温子	後期 木曜日 1時限	コンサルタント会社研究員（廃棄物計画）3年、コンサルタント自営（環境及び廃棄物計画）7年、この経験を活かして、現場で必要な知識を伝授する。	
建築構法	2	2	疋田 訓之 北守 顕久 山田 宏 和多田 遼	前期 木曜日 4時限	疋田訓之：建築実務設計25年、建築実務設計の経験を活かして、実践的な制作における根幹となる建築のテクニク（部材の選択と納まり）のエッセンスを指導します。 山田宏：セメントメーカー7.6年、地方公務員（土木建築行政一般）3.4年の経験を活かして、コンクリート材料の実像を指導します。 和多田遼：構造設計技術者：10年（一級建築士、構造設計一級建築士）実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。	
緑地マネジメント論	2	2	竹田 和真	後期 木曜日 2時限	国営公園の整備・管理を含む公園行政12年、指定管理者として公園の管理運営12年、ランドスケープコンサルタントとして住民参加や官民連携等の行政支援2年の実務経験を活かして指導する。	
インテリアデザイン論	2	2	松田 奈緒子	前期 月曜日 2時限	製造業技術者（住宅設計／企画・調査）5年、公的機関コンサルタント技術者2年の実務経験を活かし、実践につながる教育を目指します。	

【単位数合計】 14単位